

こんにちは!

横浜市議員・自民党 [リポートNo.31]

# こしいしかつ子

選挙のための政治はSTOP!! 女性の視点と工夫で粘り強く



平成29年夏

発行元: 興石且子政務活動事務所 横浜市栄区桂町325-1-103B TEL:045-443-8166 FAX:045-443-8167

## 栄区らしい賑わいを緑 ICT で 安全安心で

**緑豊かな生活文化都市** ▶このスローガンを覚えていらっしゃいますか。私たちの栄区で平成6年から10年以上にわたって親しまれたフレーズです。昨今の社会・経済情勢や技術革新、人々の価値観に照らし合わせても、私はこの品格ある栄区のスローガンに共感を覚えます。▶では、このスローガンに見合うような街づくりとは、具体的にどのように進めて行けばよいのでしょうか。ここ数年の私の取り組みをご紹介します。これを土壌にして、皆様からの御意見を賜りたく存じます。

**オープンイノベーション** ▶首都圏には、栄区と同じように住居を中心に発展してきた街が多くあり、そのほとんどは少子高齢化による空き家問題や商店街の衰退などが課題となっています。それらの地域に必要なことは、先入観に捉われず様々な業種や立場の方々とともに活動する「オープンイノベーション」を図ることであり、国も先頭をきって、AI(人工知能)の研究と実用化などを行なっています。

▶私は平成25年に、横浜市会において初めて「オープンデータ活用の重要性」を発言しました。そしてこれからの街づくりの重要な要素として、ビックデータの活用、SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)、リビング・ラボなどを提案・推進させていただいています。▶昨年度(H28)は、政策・総務・財政委員会に属し、国の法律「官民データ推進基本法」の施行をうけて、横浜市の官民データ推進基本条例を急ピッチで策定しました。義務化されていない「市による条例策定」は日本初となるものです。

**セーフコミュニティの栄区** ▶こうしたイノベーションへの取り組みが、将来にわたって成長する産業を支え、日本人元来の長所である「ものづくりの感性」と相互に融合し合うことが期待されます。▶その時、栄区のように治安がよく自然環境に恵まれ、ストレスの少ないリラックスできる環境こそが最適な受け皿となり、産業やビジネスを花開かせることができると確信しています。▶そうした中、栄区では「本郷台駅前小菅ヶ谷住宅(旧公務員住宅)売却に伴う再開発」「大船駅前北第二開発」「上郷東連合地区における庄戸中学跡地活用を柱とする再開発」など、実空間でのイノベーション案件が電子空間のそれと両輪となって進んでいます。私はこれらハード面での再開発チャンスをしっかり捉え、栄区にICTを定着させる努力をしまいにいます。

▶次世代の人たちにも、充実した仕事とプライベート、ワークライフバランスの取れた生活を、この栄区でつくり上げていただき、自分らしい働き方・生き方を求めている中で、さらに栄区の魅力に気付く方が増えるとういなおと思います。

▶皆様としっかり議論ができるプラットフォーム作りも日々進めています。次世代型街づくりへのご意見をお待ちしております。



歴史や伝統への敬意を忘れず、守るべきものを守り、新しい時代への備えを

### ガールズリビングラボ、発足準備中!

Girl's Living Lab  
女子×プロジェクト

ありそうでなかった新しい女性活躍のプラットフォームを栄区を中心に立ち上げようと毎週会議を続行中。(▷▽◁)  
女子ならではの「未来ビジョン」の実現へ男子のサポーターも募集中です!  
お問合せ: (株)ホットチョコレートズ代表 伏屋 (n@playdotcity.com) まで

活動を力強く支えて行きたい。皆様も活動の際にはぜひ私にもご連絡ください。

### ・・・毎月11日は・・・

異業種交流会  
さかえ横浜会議

- 栄公会堂・あーすぶらざ等●毎月11日18:30●どなたでも!
- 9/11 インドについて
- 10/11 相続・知っ得セミナー出張講座
- 11/11 岩村教授の常温核融合(エネルギー)
- 12/11 読み取れる!? メディアリテラシー



こしいしかつ子プロフィール●昭和43年(1968)栄区上郷町生まれ。2児の母。さかえまごころの会理事長。現代美術ギャラリー代表、議員秘書、環境健康学トランスレーター(千葉大学NPO次世代環境健康学認定)として環境・医療の講演活動。長唄名取として日本の伝統文化継承、国際交流活動などを経験し、平成23年横浜市議員に初当選。平成27年2期目当選。

こしいしかつ子HP <http://www.koshiishikatsuko.jp/> Eメール [katsuko.koshiishi@gmail.com](mailto:katsuko.koshiishi@gmail.com) Facebook [興石且子] で検索、友達申請お願いします



紙も大切な資源です。リポート類の大量配布について皆様と考えたいと思います。

HP <http://www.koshiishikatsuko.jp/> Eメール [katsuko.koshiishi@gmail.com](mailto:katsuko.koshiishi@gmail.com) Facebook [興石且子] で検索、友達申請お願いします

## ヨコハマ・パラトリエンナーレが目指すもの

～障害と芸術／パラレルは文化芸術の分野でもっともっと花ひらく～

▶横浜市は3年に1度、アートの国際展「ヨコハマ・トリエンナーレ」とともに「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」を開催しています。今年(2017年)は第2回、そして2020年のオリンピックイヤーには第3回を開催します。

▶アートが、人々の出会いと協働の機会を創り出し、絶大な経済効果をもたらすことは、観光客を多く集める世界の主要都市に数多くの美術館やギャラリーがあることからも明らかです。

▶また一方で、私は日頃から「障害者」という言葉に違和感を感じている者の一人です。障害とは「生活しづらい個性」をもっているということであり、**社会環境を生活しやすく整備すれば、現在私たちが障害と呼んでいることはただの個性となると考えるから**です。

▶パラリンピックの語源「パラレル」という考えは、横浜市でも行われた「トライアスロン」など世界中のスポーツ分野で注目されています。私はこの「パラレル」が、文化芸術の分野でももっと花ひらくことができると考えています。▶

ヨコハマ・パラトリエンナーレには、社会の中で障害をどうとらえるか、新たな価値観を生む大きな役割があると考えます。



栗栖良江さん  
ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017総合ディレクター／横浜文化賞受賞  
写真：2017年5月さかえ横浜会議

▶栗栖良江さんの「ヨコハマ・パラトリエンナーレによって障害に対する社会のイメージや考え方を変え、新しい未来を創造したい」との考えにも、とても共感します。

▶障害者自立支援法や差別解消法など法律の整備も進む中、全ての人に表現や活躍のチャンスがある社会作りを目指し、**パラレルの中から創造される芸術が、経済的にも精神的にも自律を促すきっかけとなるよう**、横浜市の事業として文化観光局、健康福祉局を中心に、市民とともに歴史に残る事業となるよう取り組んでまいります。



ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017 公式ホームページ  
<http://www.paratriennale.net>

横浜市観光文化局  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/bunk-a/soutoshi/project/paratriennale/>



公式ホームページはこちらから！

### スケジュール

- ①第1部(創作) 5月27日(土)～9月30日(土)  
象の鼻テラスを中心に市内各所で実施
- ②第2部(発表) 10月7日(土)～10月9日(月・祝)  
象の鼻パーク、象の鼻テラス
- ③第3部(展示) 11月～12月下旬  
象の鼻テラス、横浜ラポール(港北区)など市内数か所

## 一般市と隣接する栄区の特徴 「ここは横浜市の玄関口！」

～天園の魅力づくり・大船駅北第二地区開発～

▶前回のかつ子リポートNo.30でも取り組みをご報告しましたが、**天園ハイキングコース**が不法に占拠されていた問題について、除去・清掃が済みました。▶自然環境のあるべき形を残しながら天園の魅力をいっそう鮮明にし、外国からの観光客も含めた、ハイキングコース愛好者の皆さまのニーズにも応える事業になるよう、今後も求めてまいります。

▶一方、横浜南西部の玄関口である大船の「**大船駅北第二地区開発**」は、組合施行型の開発であり、市の開発部門と民間のリノベーション部門が一体となって取り組んでいる事業です。▶「大船駅笠間口～再開発エリアを結ぶコンコース」「大東橋の掛け替え」「柏尾川隣接地域一体における水道・消火栓・防火水槽」等々、生活に欠かせないインフラ整備などの

重要案件を抱えています。

▶そうした中、**行政まかせにすることなく、地域の市民や企業が主体的にこまやかに取り組んでくださっている現状**に対しては頭が下がります。皆さまの取り組みがスムーズに進みますよう、異なる行政区(鎌倉市や神奈川県、横浜の他地区)との調整など、今後とも丁寧・迅速な対応を続けてまいりたいと思います。

▶このように、栄区には天園や大船のような他の自治体と接する境界の地区がいくつもあり、そのメリットやデメリットは多岐にわたっています。▶中でも湘南地区から横浜の中心市街地を目指そうとした際に通るのが栄区であり、**いわば栄区は横浜の玄関口**でもあります。これからもその位置付けの価値を考え、誇りを持って様々な施策に取り組んでまいります。

### 大船駅前の区境いに「栄区」表示が新設



大船駅笠間口の前、大東橋のところに区名表示新設を要望し、叶いました。従来は「横浜市」表示だけでしたが、ここは横浜市の入り口であると同時に栄区の玄関口でもあります。今後も栄区の存在感アップのために力を注ぎます。

### 笠間口のタクシー乗り場も整備

大船駅笠間口のタクシー乗り場を整備しました。便利になったでしょうか？



### 「相武隧道」トンネル内の区境いも改善めざします



**かつ子プロジェクト ボランティア登録募集中！** 事務所までお問合せください (045-443-8166)

### こしいしかつ子事務所

〒245-0005  
横浜市栄区桂325-1-103B  
☎045-443-8166  
天神橋バス停すぐそば

身近な市議員として気軽に接していただくため「開かれた事務所」は大切な活動のひとつです。たくさんオープンできるように、支えてくれるスタッフと一緒にがんばっています！



### 青山繁晴 参議院議員 基調講演で「かつちゃん」を応援！

こしいしかつ子と支援者の集い/ホテルメルバルク横浜

6月28日、こしいしかつ子の議員生活7年目を記念する「こしいしかつ子と支援者の集い」を山下公園前ホテルメルバルク横浜にて開催、参議院議員 青山繁晴氏に「基調講演」をお願いし、ご登壇いただきました。歯に衣を着せぬ物言いで、国防・安全保障・エネルギー・経済・文化・女性活躍等様々なテーマを含む「青山節」を發揮。「かつちゃん、かつちゃん」と、親しみのこもった力強い励ましをいただきました。先日の国会質問等で青山氏をご存知の方も大勢いらっしゃると思います。どうぞYouTube等で検索し、青山氏の主義主張に触れてみてください。

